



本気 元気 根気

「本気で」「元気に」「根気よく」取り組むことよき気づく子供

佐賀市立巨勢小学校 学校だより

令和8年2月12日

第16号

■小学生バルーン係留体験搭乗■

1月29日(木)、延期していたバルーン係留体験搭乗を行いました。これは、佐賀市内の小學生に「空飛ぶ感動を」また「バルーンのみち」の意識醸成を目的に実施されている佐賀市の事業です。当日は、天候に恵まれ、子ども達はロープに繋がれたバルーンに乗って、実際にバルーンの浮遊感を体験することができました。バルーンと地上で互いに、手を振ったり、じゃんけんをしたりして、運動場に子ども達の歓声が響きました。貴重な体験を提供していただいた関係者に感謝申し上げます。



■地震津波避難訓練■

1月19日(月)3校時に地震津波避難訓練を実施しました。今回の訓練は、地震の後に津波が発生し、全員が3階に避難するという想定で行いました。最初に、担当者からリモートで、訓練時の心構えや気を付けること、津波発生時の避難する場所の説明がありました。全校の子ども達が3階に避難しますので、学級や学年ごとに避難ルートや最終的に避難する場所が異なります。その後、地震が発生したという校内放送で、全員が机の下にもぐりました。1年生の教室を見に行くと、上手に机の下にもぐっていました。(少し事情があり、3階への実際の避難は行いませんでした。)



巨勢小では、不審者、火災、そして今回の地震津波の年3回の避難訓練を行っています。それぞれの訓練ごとに、子ども達や教職員の避難の仕方や動きが異なります。自然災害等については、日ごろの備えがとても大切になってきます。緊張感を持って訓練に臨むことが重要だと考えます。そして、子ども達には、自分の命は自分で守ることができるようになって欲しいと思います。

子ども達が、学校にいる時に自然災害等が発生するとは限りません。ご家庭でも自然災害等が発生した場合には、どう対応するのか話題されてはどうでしょうか。

■外部人材を活用した科学教室■

1月15日(木)、3校時に6年1組、4校時に6年2組で科学教室を行いました。佐賀大学名誉教授の先生に講師として来校していただき、ご自身が南極に行った体験を中心に、**地球温暖化についての話**をしていただきました。また、講師の先生自身が南極に行った時に使用した靴や服なども見せていただきました。子ども達は、とても興味深く話を聞いていました。



■城東校区PTA懇親ミニバレーボール大会■

1月17日(土)循誘小学校体育館にて、城東校区の各PTAでチームをつくり、**ミニバレーボール大会**が行われました。本校からも保護者の方と教職員で2チーム編成し、参加しました。全体で9チームの参加となり、予選リーグと決勝リーグが行われ、**大変盛り上がった大会**になりました。こういったスポーツによる親睦会もいいものだなと思いました。参加された皆様、お疲れ様でした。



■2月の全校の集い■

2月2日(月)、**感染症防止のためリモートで全校の集い**を行いました。この集いの中で、**言葉遣いに気をつけよう**と話をしました。話の最後には、右のジョセフ・マーフィーという人の言葉を紹介しました。生活の話で、担当者からも正しい言葉遣いをしようと話をしてもらっています。

子ども達には、相手が傷つく言葉、攻撃するような言葉、いじめにつながるような言葉ではなく、**相手が笑顔になるような言葉、うれしくなるような言葉、そして目上の人に対して適切な言葉で会話ができるようになってほしい**と思います。

不適切な言葉遣いについては、継続して指導をしていきますが、ゲームやSNS上の不適切な言葉を、そのまま現実の世界で話しているような気がしています。

こうふく じんせい あゆ
幸福な人生を歩んでいる人は、
ことば つか かた し
言葉の使い方を知っています。
ことば えら つか
言葉は選んで使いなさい。
ことば せんたく じんせい あか
言葉の選択一つで、人生は明るくも
くらくら
暗くもなるのです。

ジョセフ・マーフィー

次年度に向けて、少しずつ子ども達の活動の引継ぎが行われています。例えば、委員会活動の主体が、4、5年生中心の活動に変わりました。今年度、巨勢小学校を立派にリードしてくれた6年生の姿を見ていた4、5年生です。しっかりと跡を受け継いでくれることでしょう。

6年生の「巣立ちの日」が近づいていることを実感し、少しさびしさを感じているところです。